

シンジェンタグループ広報室

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6121

東京都中央区晴海 1-8-1

オフィスタワーX21 階

Tel: 03-6221-1001 Fax: 03-6221-1051

www.syngenta.co.jp

シンジェンタ シード株式会社

〒289-2304

千葉県香取郡多古町高津原向ノ台

401-2

www.syngentaseeds.co.jp



media release

スイス・バーゼル発、2009年2月6日

英文リリース日本語抄訳

2008年通年業績

売上高および収益において過去最高を記録、成功に導いた技術提供

- 売上高は、恒常為替レートで**21%増の116億ドル**
- 農薬事業の売上高は、**22%増の92億ドル**
- 種子事業の売上高は、**16%⁽¹⁾増の24億ドル**
- 一株当たり利益⁽²⁾は、**42%増の16.26ドル**
- 特別項目を差し引いた後の一株当たり利益は、**14.63ドル**
- フリーキャッシュフローは、**7億6,100万ドル**
- 予定配当の増加：**25%増の6スイスフラン**

	報告されている財務概要			特別項目を除く			
	2008年 百万ドル	2007年 百万ドル	現地 通貨 %	2008年 百万ドル	2007年 百万ドル	現地 通貨 %	CER %
売上高	11624	9240	+26	11624	9240	+26	+21
純利益 ⁽³⁾	1385	1109	+25	1540	1112	+38	-
一株当 り利益	\$14.63	\$11.42	+28	\$16.26	\$11.45	+42	-
				\$16.26	\$11.06	+47	-

2007年の非経常収入を除く

最高経営責任者のマイク・マックは、次のように語っています。

2008年は、農業にとって稀に見る素晴らしい年となりました。作付面積は拡大し、技術導入が加速しました。世界中の生産者が農薬製品の使用を増加し、高価値の種子を植えた結果、世界的にすばらしい収穫高が得られました。シンジェンタは、幅広い製品ポートフォリオとグローバルな事業活動により、良好な市場環境を最大限に活用することができました。特に新興国市場において力強い成長を達成し、今や売上高の**3分の1以上**を占めています。食糧と飼料の需要の伸びはこうした国々に集中しており、潜在収量実現への継続的な牽引力が根底にあります。

ビジネスの更なる拡大を確実にするための大幅な成長投資にもかかわらず、売上高の伸びは、広範囲にわたり高い利益を伴いました。種子事業は、米国において成功裏に自社製品のトリプルスタック種子を上市し、当社の広範囲におよぶ形質と遺伝資源を世界的に示しました。農薬事業は、4年連続して市場シェアを拡大しました。2006年以降に上市された新製品は、力強い成長を示し当社の豊富な研究開発中の新製品に主要なプロジェクトが追加されました。既存製品の可能性は、アミスターに示されるように今や単独で10億ドルを超えており、アクタラ/クルーザーがこれに続いています。昨年開始した主要製品の製造能力拡大プログラムがこうした潜在需要の実現を可能にしました。戦略的分野におけるいくつかの買収をするための財務的弾力性を保ちながら、同時に株主に10億ドル以上を還元しました。

- (1) 恒常為替レートによる成長 (2) 完全希薄化ベースでの一株当たり利益、リストラおよび損益を除く
(3) シンジェンタ AG 株主への純利益

2008 年通年業績

売上高は26%増

売上高は、恒常為替レート (CER) で21%増加し、全ての製品群および地域で伸びを示しました。15%の販売量の伸びは、6%の販売価格の引上げにより補完されました。農薬事業部門の売上高*は、22%の増 (CER)、種子事業部門の売上高は、16%増 (CER) でした。

EBITDA マージンは21.5 %

EBITDA (利払い・税引き・償却前利益) は、主に販売量の増加を反映し22%増 (CER) の 25億ドルでした。値上と業務の効率化によるセービングは、原材料の値上げによるコストの上昇を相殺して余りあるものでした。これにより引き続き成長のための投資が可能となりました。

通貨変動:

報告されている売上高への通貨の影響は、上半期はプラスに働きましたが、下半期は、年末に向けて特に新興市場の市場通貨に対して、ドルの価値が高騰したことを反映してはつきりしない展開となりました。通年では、通貨は、EBITDAに対して1億6千4百万ドルの好影響を与えました。

一株当たり利益は36%増

特別項目を除く一株当たり利益は、42%増の16.26ドルでした。2007年の非経常収入を除いた一株当たり利益は、47%増加しました。これは営業利益の増加と税率が下がったことによるものです。特別項目に対する経費を差し引いた後の一株当たり利益は、14.63ドルでした。(2007年: 11.42ドル、非経常収入を除く)。

展望

最高経営責任者マイク・マックは次のように語っています。

2008 年、浮揚する農業市場は収量増加の継続的牽引力である技術が中心的役割を果たしていることを示しました。シンジェンタは、良好な環境に資本投資し、世界のリーダーとしての地位を強化しました。2009 年、通貨の悪影響とリスクマネジメントの強化の必要性により新興市場における成長は限られるかもしれませんが。北半球のシーズンに対する初期の兆候は、有望で、当社は再び全市場において他社をしのご好位置につけており、経済の

不確実性にもかかわらず、2009年の一株当たり利益においても、引きつづき目標成長を達成することを可能にします。成長投資への継続、製品の製造能力拡大プログラムと本日発表された大幅な配当増加に示されるように当社は、農業の強い基礎的基盤と我々のビジネスに対する展望に自信を持っています。

シンジェンタは、“植物のちからを暮らしのなかに“を企業目的として世界90カ国以上で事業を展開し、2万4,000人超の社員を擁する世界のリーディングカンパニーの一つです。ワールドクラスの科学、グローバルな事業活動とお客様へコミットメントを通じて、作物の生産性向上、環境の保護および健康と生活の質の向上をサポートしています。さらに詳しい情報は、インターネットwww.syngenta.com（英語）または、www.syngenta.co.jp（日本語）をご覧ください。

将来の見通しに関する記述についての注意事項

本リリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述は、「見込まれています」、「でしょう」、「の予定です」、「潜在的な」、「計画」、「展望」、「推定」、「目的」、「目標」またはその他これに類似した表現により特定されます。そのような将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確実要素により影響を受けるため、実際の結果と異なる可能性があります。そのようなまたはその他のリスクと不確実性については、シンジェンタが米国証券取引審議会に提出した入手可能な書類をご参照ください。シンジェンタは、実績、前提条件の変化などの要因を反映するための将来の見通しに関するいかなる記述もそれを更新する義務を一切負わないものとします。本リリースの全体または一部は、シンジェンタAGの普通株またはシンジェンタADSの売却もしくは発行を申し出るか、勧誘するものではなく、それらの購入または申込の申し出を勧誘するものでもありません。また、それらの目的のために締結される契約に関してその根拠または拠り所となるものではありません。